

授業と評価の年間計画

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	
使用教科書（発行所）		POLESTAR English Communication Ⅱ（数研出版）		
履修条件 対象生徒	必修 普通科・理数科 2年			
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。			
学習方法	<p>【授業】 授業で行われる様々な活動に集中力を持って意欲的に取り組もう。予習で抱いた疑問は解決されたか確認しよう。さらに疑問が残ったら授業者に質問しよう。</p> <p>【家庭学習】 言語の習得には、家庭で毎日1時間以上その言語に触れることが重要である。その日習ったことは必ず見直し、確認しよう。その後、音読を行うこと。音源を用いると、リスニングの訓練にもなりさらに効果的である。次に予習である。予習にはかなりの重きをおこう。辞書を用いて自分の力で理解しよう。予習で分からなかったところは、授業をしっかりと聞いて理解しよう。</p> <p>【補習・その他】 単語テストや構文テスト、週末課題、補習が予定されている。いずれも、授業では補いきれない所を強化するために内容を選択してある。積極的に受けよう。</p>			
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期 (1)期末考査まで ア Lesson1 Japan Through Foreign Eyes イ Lesson 2 Universal Design ウ Lesson 3 Table for Two</p> <p>2 2学期 (1)期末考査まで ア Lesson 4 The Story of the Ertugrul イ Lesson 5 Let's Stop Saying "That's impossible" ウ Lesson 6 The Miracle of Curitiba エ Lesson 7 Rakugo in English</p> <p>3 3学期 (1)学年末考査まで ア Lesson 8 Nelson Mandela and the Springboks イ Lesson9 The Most Advanced Water ウ Lesson10 Less Is More</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・完了不定詞 ・to 不定詞の受動態 ・前置詞と関係代名詞 ・形式目的語 it ・関係副詞の継続用法 ・関係代名詞の継続用法 	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形の分詞構文 ・未来完了形 ・be+to 不定詞 ・句や節を受ける which ・複合関係詞 ・使役動詞 ・as if の用法 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法現在 ・結果を表す to 不定詞 ・過去分詞の分詞構文 ・いろいろな仮定法 ・付帯状況の with ・主語の省略
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から観察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解している。またそれらを言語活動に活かしている。	英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価方法	①定期考査 ②授業態度 ③課題・提出物 ④小テストなどを総合的に判断して評価する。			
その他	4領域（読む・聴く・話す・書く）のバランスのとれた総合的言語能力の育成を目指す。			

